

講習科目名	【選択】 英語講座Ⅱ（リーディング指導及び文法指導）	実施期日	8月19日（木）
時間数	6時間	講習形態	講義と演習
主な受講対象者	中・高等学校英語科教諭	受入人数	30名
担当教員	渡部 友子（教養学部教授）		
講習の到達目標 （成績評価の観点）	(1) 英語発問の目的と方法を理解し、発問を作成することができる。 (2) 文法項目を意味でつなぐ意義と方法を理解し、つなぐ案を構想できる。 (3) 自身の授業改善のために、(1)(2)をどのように応用できるかを説明できる。		
講習の概要	本講座は、前半でリーディング授業を深める英語発問の方法を考察する。和訳による表層的な理解から脱却し、教室での英語使用を増やすことがねらいである。後半は、形式の難易度により導入時期が異なる文法項目（例えば命令文と助動詞と不定詞）を「意味の近さ」によってつなぎ、教員自身および生徒の表現力を高める方法を探る。いずれも講義後の演習で実践的に学ぶ。		
講習計画	1 時限目（90分）：英語発問の種類と、その狙いや効果（講義） 事実確認の質問、推論を促す質問、YES-NO 質問と WH 質問の使い分け、語レベル、文レベル、および談話レベルの質問などを取り上げる。 2 時限目（60分）：英語発問を作成する（演習） 中学校および高校の教科書を素材とし、発問を考える。 3 時限目（90分）：文法を意味でつなぐ意義と方法（講義） 不定詞、動名詞、助動詞、接続詞（従属節）を取り上げ、形式的指導の問題点を指摘した上で、意味を軸にした展開方法を提案する。 4 時限目（60分）：文法を意味でつなぐ実践（演習） 中学校および高校の教科書を素材とし、既習文法とのつなぎ方を考える。 5 時限目（60分）：修了認定試験		
評価方法	筆記試験		
教材・参考文献	教材は印刷して配布する。参考文献は以下の2冊（購入しなくてよい）。 伊藤治己（2016）『インタラクティブな英語リーディングの指導』研究社 田中武夫ほか（2011）『推論発問を取り入れた英語リーディング指導』三省堂		
受講者に望むこと			
備考			

